

佐倉福音キリスト教会

サクサク通信

2016年12月号(第24号)



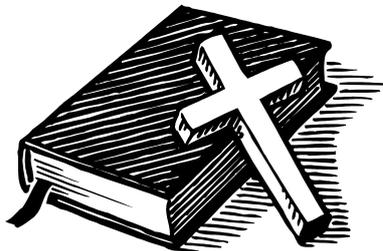
牧師：大高 伊作

電話：043-461-2983

住所：佐倉市白井田 774-83

mail: isaku.sakura.church@gmail.com

HP : <http://sakura-fukuin.com>



今月の聖書のことば

暗やみの中にすわっていた民は偉大な光を見、死の地と死の陰にすわっていた人々に、光が上った。

【マタイの福音書 4章 16節】

私はトンネルの中を運転するのが好きではありません。薄暗いですし、なんだか目がチカチカするような感覚になり、事故を起こさないか不安になるからです。しかし、トンネルの終わりが見えてくるとホッとします。あのトンネルの先に見える小さな光は私の気持ちを安心させます。

「光」には人を安心させる力があるように思います。しかし、「闇」には余り良いイメージが持てません。例えば友人が「自分は闇の中にいる感じだ」と言った場合に「良かったじゃん！幸せじゃん！」とはなりません。なんとかしてあげたくります。

これは聖書でも同じです。「闇」は苦難、苦悩、災い等を表わす言葉として用いられ

ます。あまり積極的な意味で使われることはありません。今月の聖書のことばには「暗やみの中にすわっていた民」とあります。

これは、当時のガリラヤ地方に住む人たちを指しています。マタイの福音書が書かれた当時、このガリラヤ地方の人たちは闇の中を歩んでいるような状態でした。ヘロデという横暴な王の存在やローマ帝国の存在、また、ユダヤの人々からも蔑まれているような状態でした。ユダヤ人は血統を大切にしていますが、ガリラヤ地方には異邦人(ユダヤ人以外の人たち)が多くいたためその地は蔑まれていたのです。ガリラヤ地方の人たちは、そういう意味で暗黒の中にいました。その暗黒の中にいた人たちが、偉大

な光を見たと言います。何によって偉大な光を見たのでしょうか。それは、イエス・キリストによってです。イエス・キリストは、ガリラヤ地方にあるカペナウムという町に拠点をおいて宣教を始めました。これは、ユダヤ人の感覚からすると驚くべきことです。それは、ユダヤの中心のエルサレムで活動するのではなく、都市とは言えないカペナウムに、しかも異邦人が多く住んでいるカペナウムに宣教の拠点を置かれたからです。しかし、ここにイエス・キリストの意図があります。イエス・キリストは、自分を誇り、自分こそ一番だと思っている人たちに届いていこうとされたのではありません。まさに暗黒の中にいる人たちに届こうとされたのです。暗闇の中にいる人たちに光を、救いを示すためにイエス・キリストは宣教されました。イエス・キリストが誕生した意味は、そこにあるのです。今年もクリスマスの季節がやってきましたが、イエス・キリストの誕生の意味を今一

度確認したいと思います。それは、暗黒の中にいる人たちに光を示すためだったのです。今自分がそのような現実の中にいると悩んでおられる方、人生の先が見えずに苦しんでおられる方、このクリスマスの時、イエス・キリストがあなたに光を与えて下さいます。ぜひ教会にお越しください。教会では、12月24日(土)17時からキャンドルサービスを、25日(日)10時30分からクリスマス礼拝を行ないます。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

◆コラム

牧師の一週間を書いています。今回は最終回で日曜日です。日曜日、それは牧師にとって一週間かけて備えてきた晴れの日です。私は、朝8時頃に来て外掃除をし、その後でザッと説教を見返したりします。そして、朝の九時から教会学校があり、その後で10時半から礼拝がもたれます。礼拝は12時頃に終わり、第一週目なら役員会、第二週目なら各会、第三週目なら部会、第四週目は聖歌隊の練習などを行ないます。第一週目以外は、13時頃には終わることが多く、妻と二人でお昼を食べます。私はそれからサクサク通信の配布に行くこともありますし、普段やりたくともなかなか出来ない片付けなどをすることもあります。とにかく余り頭を使わなくて良い仕事をします。そして、17時過ぎに家に着きます。しかし、日曜日の夜は長いのです。身体は疲れていても、興奮やら不安やらで寝られないので、ダラダラ起きてしまいます。毎週していることは妻に説教の感想を聞くことです。だいたい言葉を選んで感想を言ってくれます。感謝なことです。牧師はそんな一週間で過ごしております。そして、月曜日へ……。

～集会案内～

○日曜日：聖日礼拝 10:30～12:00
教会学校 9:00～10:00

○水曜日：聖書研究祈祷会 10:30～12:00
19:30～21:00

○毎月第2火曜日：ユニケの会 10:30～12:00 (子育てなどを行っている方のための集い。)

聖書に関する疑問等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。また、当教会は、エホバの証人やモルモン教、統一教会等とは一切関係のない、プロテスタントキリスト教会です。